

ぼくのノート

⑦3 未来を取り戻そう

待合室にある童話本を見てみると、登場する意地悪者の横に「サイテー」の落書きを見つけました。他の箇所にも「かわいそう」や「やさしい」なども（元々自分の本なのでお許しあれ）。寄贈してくれた子が、字を読めるようになった頃に読んだ本のようなのですが、大きくなった今も同じようなことを言っているような気がします。

「コロナ禍で過ごした五歳児の発達は、運動や言語表現・しつけなどで約四か月の遅れがみられた」。そんな大学合同チームの調査発表がありました。

子どもたちは三歳ごろから、親以外の大人や友だちとの交流の中で、社会性を身に着けていきます。遊びや会話の制限、マスクの着用などの「社会正義」により、すこやかな成長が停滞させられました。

時代は、子どもたちに過酷な試練を課することがあります。それでももののびに生きることが、理不尽な世の中への抵抗なのかもしれません。



認定NPO法人 いわき放射能市民測定室

たらちねクリニック

院長 藤田 操

〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町11-3 カネマンビル3階

Tel.0246-38-8031 診療科目 内科・小児科／診療時間 午前9時～12時・午後2時～5時（受付は30分前）／土・日・祝日休診